

凡例
お問い合わせ(申込)先
HP
ホームページ
Eメール
メールアドレス

月島三丁目北地区 知的障害者グループホーム等 「リヴェール月島」開設のお知らせ

令和6年11月、月島三丁目に新たな知的障害者グループホーム「リヴェール月島」が開設されます。この施設では、短期入所や一人暮らし体験が利用できる他、相談支援事業所や就労継続支援B型事業所が併設されます。

施設内容と名称

- ・グループホーム「リーナホーム」
- ◎定員18人(1室を一人暮らし体験用として運営)、短期入所は定員2人
- ・相談支援事業所「リゾラ」
- ・就労継続支援B型事業所「セイル」
- ◎通所を希望する方は事前に見学が必要です。
「リーナホーム」入居の方は、「セイル」には通所できません。

グループホーム入居者の募集

- ・新規募集人数 10人(予定)
- ・主な入居対象者
以下の全ての項目に該当する方
- 愛の手帳(療育手帳)をお持ちの方(身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳と重複する方を含む)
- 障害支援区分取得者(取得予定の方を含む)
- 区内在住者



トピックス



「晴海図書館」をご利用ください

7月1日、晴海図書館が晴海区民センター3・4階に開館しました。本図書館は一般書架に加え、「Teens&Youthエリア」として、10代から20代向けの図書を配架する他、広々とした閲覧席やグループ学習室を完備しています。また、「児童エリア」にある、はだしスペースでは靴を脱いでのびのびと本を楽しめます。開館当日は親子連れなど多くの方が来館し、思い思いに本を楽しんでいました。

申込期限

- 8月31日必着
 - ◎先着順ではありません。
 - ◎施設見学など詳細については、直接法人にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。
- ☎社会福祉法人山鳥の会
☎(5684)0770



◀社会福祉法人山鳥の会▶

補正予算のあらまし 30億7,883万5千円を増額補正

令和6年度の一般会計補正予算が、6月に開かれた第2回区議会定例会で可決されました。
今回の補正予算は、別表のとおりです。

別表 一般会計の補正額

補正予算額	補正後の予算額
30億7,883万5千円	1,378億1,403万9千円

問 財政課財政担当

☎(3546)5255

主な内容

能登半島地震を踏まえた防災対策 (15億1,590万9千円)

- 令和6年能登半島地震で顕在化した発災時季に起因する避難所生活の環境保持などの課題を踏まえた対策や自助・共助の取り組みへの支援を行い、地域防災力のさらなる充実・強化を図ります。
- ・家庭内備蓄促進事業
各家庭の取り組みを後押しするための防災用品カタログギフト(1人当たり5千円相当)の配布を行い、家庭内備蓄の促進を図ります。
- ・エレベーター防災キャビネットの無償配布
飲料水や携帯トイレ等の非常用品を格納するエレベーター防災キャビネットを希望する区内マンションに無償で配布します。
- ・備蓄物資・食料の充実
暑さ・寒さ対策やトイレ等の衛生対策などに必要な備蓄物資の充実を図ります。また、避難者想定数に基づく食料の備蓄をこれまでの3日分から4日分に増強します。

- ・防災備蓄倉庫の整備
旧新川児童館の改修工事を行い、防災備蓄倉庫として整備します。
- ・区施設の防災力強化に向けた基礎調査
災害応急活動を行う区施設および防災拠点における電力の負荷設備の確認や非常用電源の確保に向けた基礎調査を行います。
- ベビーシッター利用支援事業(一時預かり利用支援)などを活用したセーフティネットの強化
(1,706万4千円)
保護者の疾病や産後うつなどによる臨時・緊急的な一時預かり保育の需要に柔軟に対応できるよう、既存事業の見直しを図り、子育て家庭におけるセーフティネットを強化します。
- ・ベビーシッター利用支援事業の拡充
年度内144時間の枠内において月補助上限を引き上げるとともに、養育が困難な場合の相談・調整や既存事業を利用するまでのつなぎとして、区独自の緊急対応枠を創設します。

- ・緊急一時保育援助事業および育児支援ヘルパー事業の拡充
対象者および利用者負担額を見直すことで、臨時・緊急時における利用促進と保護者の負担軽減を図ります。
- 小児インフルエンザワクチン任意予防接種費用の助成
(5,634万2千円)
子育て世帯の負担軽減を図るため、新たに小児インフルエンザワクチン任意予防接種費用の一部を助成します。
助成額：2千円/回
- 新型コロナウイルスワクチン予防接種費用の増額(1億3,195万円)
新型コロナウイルスワクチン価格が当初の見込みを大幅に上回ることから、予算を増額します。
- 首都高速道路上部空間整備事業
(1億4,986万2千円)
築地川アメニティ整備構想を実現するため、首都高速道路(株)が実施する大規模更新にあわせ、首都高速道路上部空間の活用に必要なとなる覆蓋化に関連する設計などを行います。

- 設計範囲：三吉橋～万年橋区間
福島県大熊町との交流事業
(693万6千円)
星空観察などの自然体験や東日本大震災の被害状況および復興まちづくりの姿を感じられる防災教育など、福島県大熊町と連携した交流体験ツアーを実施するなど、自治体間交流を推進します。
実施回数：年1回(1泊2日)
- 密集街区における防災機能向上に向けた検討
(696万円)
能登半島地震での木造家屋の延焼火災を踏まえ、本区における再建築が困難で老朽化した木造家屋が密集する街区の状況を把握するとともに、ポケットパークや無電柱化など街区としての防災機能向上に向けた取り組みについて検討を行います。
- その他
 - ・区施設の改修(1,617万円)
 - ・インフレスライド条項等の適用に伴う工事費の増額(412万5千円)
 - ・基金への積み立て(11億7,351万7千円)

(6)

「区のおしらせ ちゅうおう」は区役所、特別出張所、区民館などの区施設、コミュニティバス、区内公衆浴場、一部金融機関、百貨店、ファミリーマート(一部店舗を除く)、都営地下鉄の駅(東銀座・宝町・築地市場・日本橋・人形町・東日本橋・馬喰横山・浜町・勝どき・月島)、東京メトロの駅(京橋・銀座・東銀座・新富町・築地・八丁堀・三越前・日本橋・人形町・茅場町・小伝馬町・水天宮前・月島)、JRの駅(新日本橋・馬喰町)、文化堂でも配布しています。